

令和5年度 学校関係者評価実施用紙（自己評価）

学校番号	41	学校名	静岡県立静岡商業高等学校	校長名	松浦真一郎
------	----	-----	--------------	-----	-------

本年度の取組（重点目標はゴシック体で記載）

	取組目標	成果目標	達成状況	評価	成果と課題
ア	基本的な生活習慣の確立 ビジネスマナーの育成	①遅刻を昨年度より減らす朝指導の実施 ②ネット依存対策講座の実施 ③交通安全教室の実施 ④自転車事故ゼロ	①コロナあけで出欠状況については昨年と一概に比較できない ②情報モラルに関する講座を実施した。 ③自転車運転マナーについてはイエローカードは減少傾向である。大きな事故はなかったが小さな事故が多かった。	A	①出欠状況についてはコロナ以降、安易な欠席や遅刻が多くなっている。減らしていきたい。 ②SNSに関する問題行動が多くなっているため、意識向上の方策を考えたい。 ③登下校指導を強化することも考えたい。
イ	開かれた教育課程の実践 ICT教育による新たな学びの推進 個別最適な学び・協働的な学びによる 指導と評価の一体化への取組実現 探究的な学びによる授業改善の推進	①教育課程検討委員会の開催・シラバスの見直し ②家庭学習課題の工夫 スタディサプリの活用 ③ICT教育の充実・発展 BYODの有効活用 公開授業週間の実施 ④観点別評価の定着、活用	①シラバスの作成・見直しを推進している。 ②スタディサプリは取りやめた。 ③BYODを導入した。活用に向け研修を進めた。公開授業週間を設けた。 ④観点別評価について研修を行った。	B	①シラバスの見直しを継続して行う。 ②朝学習のあり方について検討していく。 ③BYODの活用について研修を進めたい。公開授業週間は引き続き設けていきたい。 ④観点別評価については問題点も出ているので引き続き、研究していく。
ウ	キャリア教育の視点による多様な進路希望の実現	①進路決定率 （就職・進学）100% 3年間を見据えた進路マップ ②手帳・一人一台端末の活用 基礎力診断テスト等の分析	①就職は100%を達成した。進学は数名を残すのみである。 90%以上の生徒が商業を学んだことが将来役に立つと考えている。 ②各学年で手帳を採用し、使用する習慣をつけた。	B	①就職も進学もほぼ100%を達成している。就職ではミスマッチを減らす。進学では国公立なども増えている。自ら行動する習慣を付けたい。 ②手帳を使って自身のスケジュール管理ができるようにしたい。
エ	行事や部活動の活性化 活躍するリーダーの育成	①生徒（生徒会や委員会等）主体の学校行事の企画・立案・運営 ②県大会出場以上の目標実現 競技会への積極的参加	①学校行事はコロナ前の状態に戻りつつある ②女子ソフトテニス・水泳・情報処理ビジネス探究などは全国大会へ出場した。	A	①学校行事は元の状態に戻りつつある。生徒が自主的に企画し実践していくようにしていきたい。 ②全国大会へ出場した部活動に続けるように頑張りたい。

様式第3号

オ	<p>地域連携事業の推進 開かれた学校づくり 地域への広報活動の工夫 P T A活動の合理化</p>	<p>①商品開発や販売実習の積極的实施、実学教育の推進 ②学校・家庭・地域連携による学校運営 ③体験入学やオープンスクールの内容改善、個別相談の実施 ④実効性のあるP T A行事実施 ⑤HP更新 1週間に1回以上</p>	<p>①地域と連携した課題研究ができた。 ②学校運営協議会を立ち上げ、地域の意見を取り入れた学校運営を目指した。 ③体験入学やオープンスクールの内容の見直しを行った。 ④P T Aの行事や組織の見直しを進めている。 ⑤行事やイベントもコロナ前に戻りつつあり、魅力あるページ作成に取り組んだ。</p>	B	<p>①引き続き、地元企業や商店街と連携した課題研究を行っていく。 ②学校運営協議会委員の御意見を伺い学校運営に生かしていく。 ③体験入学やオープンスクールの内容は定期的に見直したい。 ④P T Aの行事や組織の見直しを進める。 ⑤発信する項目が偏らないように、魅力あるページ作成に取り組んでいく。</p>
カ	<p>学校組織の見直し 教職員の健康管理・業務改善 法令順守及び不祥事根絶</p>	<p>①各分掌業務の精選 ②適切な年間指導計画の作成 ③部活動検討委員会の開催 ④ストレスチェック等で課題を抱える教職員ゼロ ⑤コンプライアンス研修の実施 不祥事ゼロ</p>	<p>①分掌について見直しを行った。 ②ほぼ計画通りに進んだ。 ③部活動の見直しを行った。 ④ストレスチェックの結果には特に問題ないが、時間外労働が、なかなか減らない。 ⑤毎月実施する職員会議の冒頭でコンプライアンス研修を実施した。不祥事ゼロは達成できた。</p>	B	<p>①情報は緊急の課題である。 ②魅力のある年間行事を考えて、計画を立てていく。 ③部活動の見直しを進める。 ④時間外労働を減らす努力をする。 ⑤コンプライアンスの研修を粘り強く実施することで不祥事ゼロを目指す。</p>
キ	<p>生徒の自己健康管理 特別な配慮を要する生徒への対応・教育相談機能の充実 防災教育・防災訓練の充実 ギガスクール構想対応</p>	<p>①保健だよりの発行 薬学講座 年1回 健康講座 年1回 ②いじめアンケート 年2回 学校生活アンケート 年3回 ③防災訓練 年3回 交通安全教室 年2回 地域防災訓練への参加 A E D・エピペン実習の実施 ④一人一台端末の有効活用</p>	<p>①定期的に保健だよりを発行し健康管理を呼び掛けた ②いじめアンケートや生活アンケートで早期に問題点を把握し初期段階での対応をはかることができた。 ③防災訓練や交通安全教室は予定通り実施した。地域防災訓練は中止になる地区が多かった。 ④1年生の2学期から本格的に導入した。</p>	A	<p>①計画通りに保健だよりを発行、各種講座も行った。来年度以降も引き続き健康管理を呼び掛けていく。 ②定期的に、いじめアンケートや生活アンケートを実施するとともに面接や相談の機会を確保して初期段階での発見に努める。 ③防災訓練や交通安全教室は引き続き実施していきたい。 ④活用方法やガイドラインを研究していく。</p>
ク	<p>予算の適正な執行 教育環境の整備・充実 正確・迅速な事務・会計処理の実施</p>	<p>①効果的な予算執行、教育活動への経費確保（執行残0.5%以下） ②施設設備安全点検 学期1回 ③起案、決裁等による保管徹底 ④校内外への会計報告書適宜 検定代金や部活動徴収金報告</p>	<p>①ほぼ計画通りに進めている。 ②計画通り実施した。 ③計画通り実施した。 ④計画通り実施した。</p>	A	<p>ほぼ計画通りに進めている。来年度も、より徹底していきたい。環境整備への期待が大きいが予算の範囲内で安全・快適な教育環境の整備に努めたい。</p>